

平成 30 年 9 月 吉日

お客様・関係者各位

株式会社金融データソリューションズ

**NPM Services®会社四季報テキストデータならびに
解析データ提供サービス開始について
～会社四季報テキストを素材として独自の解析データをご提供～**

株式会社アイフィスジャパンのグループ会社で、機関投資家向けの運用業務支援アプリケーションを主力サービスとする株式会社金融データソリューションズ（本社：東京都千代田区 代表取締役：箱田啓一、以下**FDS**）は、株式会社東洋経済新報社（以下、東洋経済）の会社四季報のテキストデータ「**四季報テキストデータサービス**」ならびに **FDS**が独自に開発した**テキスト解析エンジン**により同テキストデータから計算した個別株式の評価データ「**解析データサービス**」のご提供を、平成 30 年 9 月 14 日（金）より開始しますのでお知らせいたします。

資産運用業界、とりわけクオンツ（定量型）運用においては、超過リターン（アルファ）の獲得につながる運用手法（メソッド）を開発するため、金利・為替情報（マクロ・データ）や個別企業の財務情報（ミクロ・データ）などの定量データを分析・利用してきました。最近ではこれらの定量データに加え自然文のような、今までデータの取得や処理等が難しかった定性データを AI など新たなアプローチを用いることによって従来のメソッドとは全く異なった切り口に基づく運用モデルを開発する動きが 1 つの潮流となっています。

今回、**FDS**が提供するサービスは「人が書いた業績記事（具体的には四季報アウトルック・コメントリー）」のテキスト本文を独自に開発した辞書先決型アプローチによるテキスト解析エンジンによって個別銘柄の極性をランク付け（ポジティブ/ネガティブの評価）するものです。機関投資家は本シグナルを活用することで、効率的にファンドの設計・運用を行えるとともに、ファンドのパフォーマンス向上に寄与できるようになると期待しております。

金融データソリューションズは、今後も更なるサービスメニューの開発や品質向上に取り組み、投資家に幅広く活用いただける高い付加価値のサービスを目指してまいります。

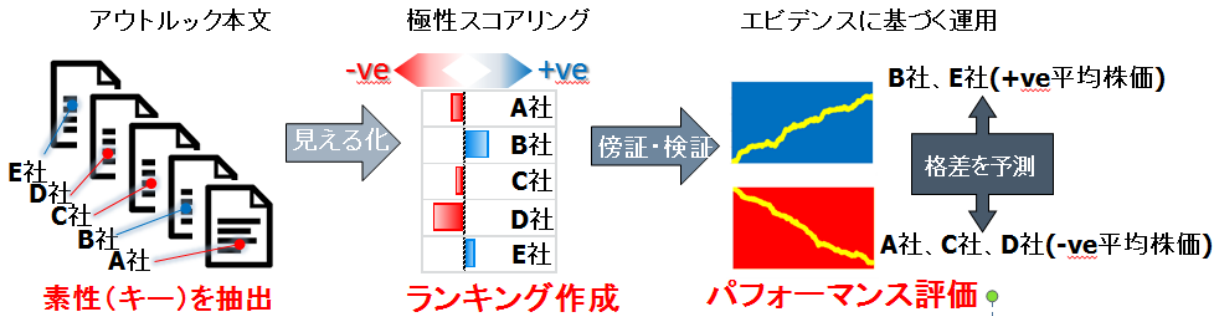
■四季報解析シグナルの特徴と機能

(1) 順位がみえる化：極性スコアで銘柄をランク付け

機械を用いて個別銘柄のコメントリーの極性（ポジティブ、ネガティブ）を速やかにスコア化することで銘柄間での比較が瞬時に可能になり、ストック・ピックが素早くできる。

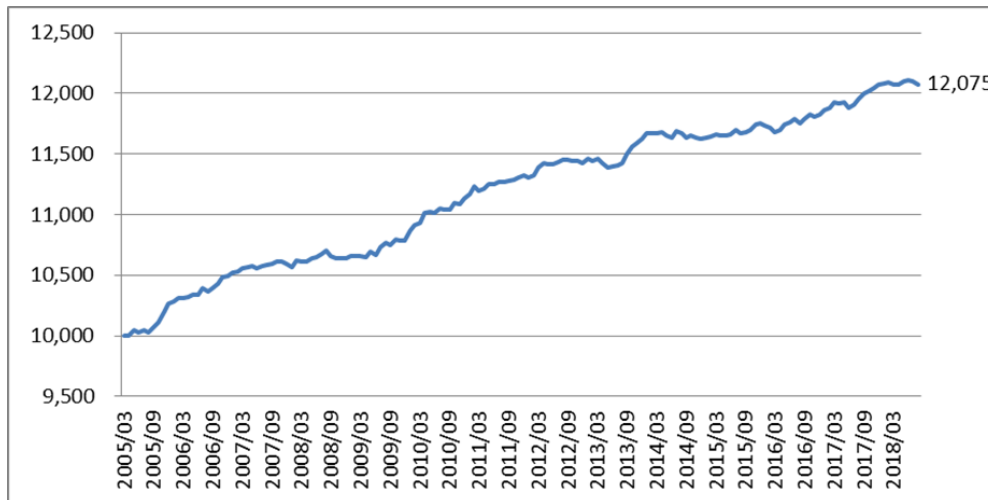
(2) エビデンスがみえる化：運用バックテスト

過去10年の銘柄全件遡って当時のコメントリーの極性スコアを作成した後、運用バックテストを実施することで「エビデンスに基づく株式運用」を行うことができる。

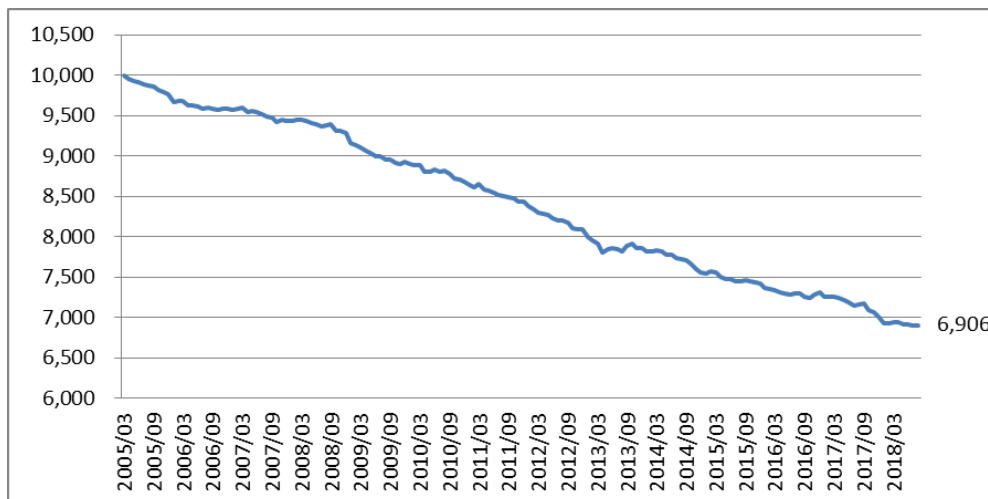


■運用バックテストの一部紹介

【ポジティブ銘柄のファクターリターン】2005年3月末を10,000円として2018年8月末まで運用



【ネガティブ銘柄のファクターリターン】2005年3月末を10,000円として2018年8月末まで運用



◆ 会社情報

株式会社金融データソリューションズ (※)

代表取締役 箱田啓一

所在地：東京都千代田西神田3-1-6 日本弘道会ビル

設立：2007年12月

資本金：950万円（2018年8月末現在）

役職員数：11名（2018年8月末現在）

主な事業の内容：金融モデル・データ開発、金融情報サービス、大学向けデータサービス、
システム設計・開発、コンサルティング

ホームページ：<https://fdsol.co.jp/>

(※)株式会社アイフィスジャパン（上場市場：東京証券取引所 第一部証券コード：7833）の子会社。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社金融データソリューションズ

担当：箱田

電話番号 03-6825-1915

以上